

わくわくドキドキできる 刺激的な知の拠点の誕生。 京都太秦キャンパス

交流を促進する空間。
ハーバード大学の教員と
交流できるスペースも。

大学が持つ資源を地域に活かし、周辺エリアの地(知)の拠点(Center of Community)としての発展をめざす京都太秦キャンパス。周辺と構内の境界に柵をつくらない開かれた交流空間には、学生たちの学ぶ意欲を刺激するさまざまな仕掛けが設けられます。

そのなかの一つが、キャンパス内にハーバード大学アジアセンターの教員が在駐するオフィスの設置です。学生が自由に訪問し、外国人教員とのコミュニケーションを英語で実

「わくわくドキドキ」できる環境づくりが京都太秦キャンパスのコンセプト。さまざまな人がコミュニケーションを楽しめる、緑に満ちた空間を創造します。

完成イメージ
(変更となる場合があります)



践できるようにする予定です。また、外国人留学生を積極的に受け入れ、多様なコミュニケーションを楽しみながらハイレベルな英語力を自然に修得することができる環境を整備します。ほかにも、幼稚園と保育所を一体化した「総合こども園」の開設や、地域の高齢者と

子どもたちが交流する機会づくりも進める予定です。さらに図書館やレストラン、カフェ、ブックストアなど、学生たちの学びと生活をサポートする施設も充実。知的好奇心が刺激され、発見のある毎日を過ごせるような環境を創造します。

身につけた「実学」を社会で応用するには、さまざまな分野の知識や教養が欠かせません。新生・京都学園大学では、特にビジネスに役立つ知識の修得を重視し、知的財産やビジネスパーソンの常識、またコーポレートガバナンス(企業統治)などをすべての学生が学べる科目として用意します。

また、語学力を高める学習環境も強化します。4年間を通して英語や中国語の運用能力

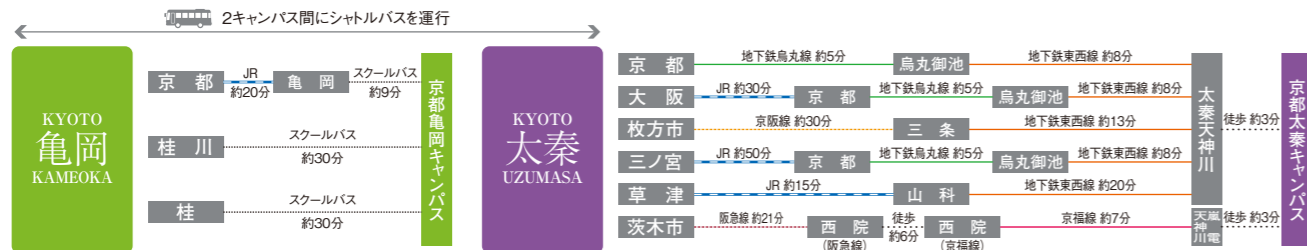
ビジネスに必須となる
国際感覚や教養を
すべての学生に。

を段階的に高めていける「エクストラコース」の開設を計画中です。さらに現地の文化や社会に触れながら実践的な語学力を修得できる留学プログラムも豊富に設け、グローバル人

材としての歩みを全力で支えていきます。

ほかにも地域の産業界と協働した研究プロジェクトなど、社会連携の取り組みを積極的に推進。実社会での体験を通してマナーや礼儀なども含めた総合的な「人間力」を鍛え上げ、学生満足度100%の実現をめざします。学生一人ひとりが満足できる4年間を過ごせるよう、私たち教職員が一体となって改革を成功に導いていきます。ご期待ください。

全学部共通カリキュラム グローバルな舞台で活躍できる、 人間性豊かな国際人へ。



〒621-8555 京都府亀岡市曾我部町南条大谷1-1 TEL 0771-22-2001(代表)
http://www.kyotogakuen.ac.jp/
【入試に関するお問い合わせ先】入学センター TEL 0771-29-2222 E-mail nyushi@kyotogakuen.ac.jp

N News Letter

新しい「京都学園大学」が始まります。2015年4月、ダブルキャンパスへ。

京都学園大学
ニュースレター
Vol.5
2014年3月号
発行 京都学園大学

2015年4月
新・京都学園大学

始動



2015年4月の新展開に向け、新しい京都学園大学の姿が明らかになってきました。「京都太秦」×「京都亀岡」によるダブルキャンパスを舞台に、4学部によって実施される実学の新たな取り組みと狙いを理事長と学長が語ります。



学校法人京都学園 理事長
田辺 親男
たなべ・ちかお
1947年、京都市生まれ。
京都府立医科大学 医学博士。
親友会グループ会長、
京都経済同友会特別幹事。
2012年、理事長就任。

京都学園大学 学長
内山 隆夫
うちやま・たかお
1948年、浜松市生まれ。
同志社大学大学院
経済学研究科 博士(経済学)。
1991年より京都学園大学経済学部教授。
2010年、学長就任。

「企業留学」をキーワードに、 実践型の教育がさらに進化。

経済経営学部[※] 経済学科^{太秦} / 経営学科^{太秦} 構想中 構想中

経済学部、経営学部、法学部が融合して生まれる経済経営学部のコンセプトは、現代のビジネスに通用する実践力の強化です。そのため体験型の学習機会を豊富に設け、なかでも京都の優良企業に企業留学する「アドバンスト・インターンシップ・プログラム(AIP)」と、海外の企業に長期滞在して国際的な仕事を体験する「グローバル・インターンシップ・プログラム(GIP)」の受講を強く勧めています。新展開に先駆け

国内外の企業で学び、
ビジネスを実践。
公務員養成にも注力。

2013年から始まったこの画期的なプログラムは、参加学生の問題解決力や国際感覚の養成という面で確かな成果を上げており、2015年以降もさらなる拡大・発展を計画しています。

また、身につけた力を地域社会に役立てようとする学生のため、公務員養成に特化したプログラムを設けます。現場に必須の思考力や応用力を集中的に鍛え、法律に関する科目も組み合わせて試験対策に直結する学びを展開するプログラムは、公務員養成に確かな実績を上げてきた本学の強みが十分に活かされたものになるでしょう。社会に貢献したいと願う志を持つ方々に、こうした学習環境をフル活用してもらいたいと思います。

東日本大震災後、「絆」は私たちの社会のより重要なキーワードになりました。豊かな暮らしの土台となる「人間関係」への関心が高まる今だからこそ、人文科学は強く輝くと私たちは考えます。人と人との関係と足跡を科学的・実証的な視点からとらえ直し、社会に活かせる価値の発見へと結びつける、そうした学びを2015年以降もさらに強化していきます。

京都亀岡キャンパスに設置される心理学科で

心と社会と歴史を学び、 現場で生きる力を身につける。

心理学科^{亀岡} / 歴史文化学科^{太秦} 人文学部[※] 構想中 構想中

人間力を磨く教育を重視。
地域のフィールドで学ぶ
実践プログラムを強化。

は、脳波測定室や行動観察室など充実した施設・設備を利用する実験・演習を開講し、人の心や行動への理解を深めます。体験型の学習機会を豊富に設けることにより、学んだ心理学の

専門的な理論をさまざまな実践のなかで定着させられるようにします。

京都太秦キャンパスに設けられる歴史文化学科では、日本の歴史と文化の舞台となった太秦の環境を存分に活用し、フィールドリサーチなど参加型・体験型の学びを積極的に推進していきます。地域の方々と連携し、歴史と文化に息づく知を社会の発展に活かしている「21世紀型の地球市民」の育成をめざします。



「新しい大学の創造」に匹敵する
改革にご期待ください。
本学ならではの面倒見のよさを
あらゆる教育に反映させ、
学生満足度100%をめざします。

学校法人京都学園 理事長
田辺 親男
たなべ・ちかお

2つのキャンパスが連携した

「実学」の新展開

実践力を備えた人材へのニーズがこれまで以上に高まっている今、学生たちが自信を持って社会へ羽ばたいていけるように。
「実学」の進化をキーワードにした新生・京都学園大学の学びのトピックを、4つの学部別にご紹介します。

※新学部・新学科の名称、内容等は変更になる場合があります。

社会が求める人材を育成する
いま求められる大学として。
ダブルキャンパスで、
本学のDNAである実学教育が、
2015年、さらに進化します。

京都学園大学 学長
内山 隆夫
うちやま・たかお



2013年に決定された「日本再興戦略」で「国民の健康寿命の延伸」が重要テーマに設定されるなか、社会的ニーズのきわめて高い医療・福祉・保健の担い手を育成する教育機関として健康医療学部は誕生します。看護、言語聴覚、健康スポーツの3学科を設け、ヘルスマネジメントのエキスパートを送り出し、人々の健康生活の実現と健康寿命の延伸に貢献します。

研究活動における包括協定を結ぶ京都府立

資格取得に万全の支援を。
看護師・言語聴覚士は
合格率100%をめざす。

医科大学をはじめ、先進的な医療機関と連携しながら実践的な学びを展開します。自らのキャリアを意識しながら学べるカリキュラムを用意し、とりわけ看護学科と言語聴覚学科では「国家試

験合格率100%」をめざして合格に直結する総合的なサポートを行います。また、教員陣に医療・福祉・保健・スポーツ関連分野での実績ある人材が揃うことも健康医療学部の特色の一つといえます。現場に求められる知識や技能をわかりやすくレクチャーし、社会で本当に役立つ力を養成します。また、教養教育を重視し、総合的な人間力にもとづく「思いやり」の心を医療現場で活かせるように指導していきます。

2015年に開設10周年を迎えるバイオ環境学部は、新たに食農学科を加えて3学科体制となります。これからの自然環境を大きな視点でとらえて設計するバイオ環境デザイン学科、細胞や分子レベルで生命の仕組みや生物の機能を解明・利用するバイオサイエンス学科、また農作物の開発・生産・加工と地域への流通を総合的にとらえる食農学科まで、人と自然の共生環境をトータルで学べる体制がさらに整います。

亀岡の自然環境のもと
地域産業と連携した実践に挑む。
新施設も続々誕生予定。

食農学科がめざす役割は「まちのなかの研究所」。水と緑が豊かな亀岡を舞台に、食と農の新たな価値の創造へ、地域と一体になって取り組んでいきます。農業や食品加工など地域

の産業と連携し、現場経験にもとづく実践力を修得できる機会を豊富に用意する予定です。また、キャンパス内に食品開発センターや新種苗開発センターといった研究開発施設を設け、付加価値の高い作物の開発、生産、加工、普及、あるいは食の安全といった領域まで幅広く学びます。さらなる発展が見込まれる農業・健康食品産業をリードしていける人材へ、学生たちを大きく育てます。

健康医療学部[※] 看護学科^{太秦} / 言語聴覚学科^{太秦} / 健康スポーツ学科^{亀岡} 構想中 構想中 構想中

現場密着型の学びで、 「健康」を支えるスペシャリストへ。



地域産業との協働を通して 食と農のゼネラリストへ。